

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

2026年
2月20日
第505号



JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和
編集人 高山 浩

JRひがし労と統一要求で春闘を闘おう！ JS労の姥さんと共に組織展望を切り拓こう！ 第39回定期中央委員会開催

JR東海労は2月11日、名古屋市内で第39回定期中央委員会を開催しました。冒頭、急逝した組合員の松永(旧姓清水)正春さんのご冥福を祈り、黙祷を捧げました。司会は畑野副委員長が行い、議長に丹羽中央委員(名古屋地本)を選出しました。来賓のJRサービック労働組合柳楽委員長、JRS E労働組合山本委員長、本部OB会増田会長より挨拶を受けました。今委員会には、回転寿司ユニオン吉田書記長、JR東労働組合松下委員長よりメッセージを頂きました。質疑応答、総括答弁の後、淵上委員長の団結ガンバローで委員会は成功裡に終了しました。

あらゆる仲間と連帯し、平和な社会をつくろう！

淵上委員長挨拶 (要旨)

は、選挙闘争における共闘の一環として選挙区ごとの推薦候補者を出させて頂きました。選挙結果は、自民党が衆議院全体465議席の3分の2を上回る316議席を獲得しました。野党第一党の立憲民主党は、公明党と統一して中道改革連合を結成しましたが、172議席から大幅に減らす49議席に留まり大敗しました。中道改革連合の結成は、結果的には最大野党の立憲民主党を破壊したというだけになりました。衆議院として憲法改正の発議がいつでもできる状況になりました。2028年に参議院選挙がありますが、この流れで行けば憲法改正への国民投票が現実のものとなり得ます。そして、それを契機にスパイ防止法の制定などを通じた国民への統治を強め、ファシズム国家への動きが加速していくのではないかと危機感を持ちます。まさに私たちは平和の危機に直面しています。しかし多くの国民は、自民党圧勝のその先に戦争が待ち構えている危機感など全くありません。私たちは労働組合として、この社会の状況をしっかりと据えて、国民投票が現実のものになることを明確にし、憲法改悪反対、戦争反対において多くの労働者の結集を目指していかねばなりません。

年が経過しました。関連会社において、JR東海労の運動の広がり組織をつくり出していくために結成したJS労の否定に留まらず、JR東海労そのものを破壊しようとしたからです。一部OB会員は、JR総連の意を受けて組織破壊者として蠢きました。しかし私たちは、JR総連による2029年JR東海労解散方針を許さず、OB会の皆さんの支援を受けて、労働者の連帯を目指してきました。

労働者の連帯を否定したJR総連を脱退して一

社員が中心となり、労働組合のない職場で一から組織を立ち上げ、ストライキができるまでに組織を強化し、その闘いを通じて賃金アップや労働条件の改善を勝ち取っています。私たちが実践したことのない闘いをつくり出していきます。私たちにR西労の解散を平成採の課題としてJR総連は丸投げしたと思われず。そして、JR西労の定期中央委員会において、2029年に組合員が平成採11名になるとした上で、組織体制の見直しから本部から提起されたようです。JR総連は、2029年にセン労とJR西労の解散を本気でやるように見えます。解散はJR総連の最終的な破壊でしかありません。解散の現実を突き付けられてもなおJR総連と共に闘うのでしょうか。

春闘では、JRひがし労との統一要求として2万円を掲げています。要求を統一して掲げることによって連帯した闘いとして明確にしていきます。労働者の実質賃金は、12ヶ月連続で減少しています。要求の満額獲得を目指し、連帯した闘いをつくります。

JR東海労は、組合員の労働条件の改善の闘いはもとより、憲法9条改悪に反対し、戦争のない平和な社会を守り、人権・民主主義を守るために闘っていきます。



2月8日に投票が行われた衆議院選挙でJR東海労とJRひがし労



姥さん、サービック労組を脱退!

J S 労柳楽委員長



本日付でサービック新大阪第二事業所で働いている姥直樹さん24歳がサービック労組の脱退を通告し、J S 労組合員であることを会社にも通告しました。二重加盟の解消です。未来に向かう第一歩だと言えます。姥さんの勇気を讃えると同時に、仲間の皆さんの連帯と激励をお願いします。姥さんは、昨年2月に開設した何でも話のできる「相談室」に、11月22日にメールをしました。その内容は、「職場でハラスメントに悩まされている」というものでした。このハラスメントを止める方法として、弁護士に警告文を出してもらおうという法的対処があります。姥さん自身が加害者に「やめてくれ」という意思表示をしよう。そして、それをフォローするために、前田書記長が加害者に忠告をすることとしました。

12月7日、前田書記長が加害者に忠告し、加害者は姥さんに謝罪しました。しかし、サービック労組からの姥さんに対する追及が始まりました。12月10日には、勤務終了後を待ち伏せして、腕を掴んで、拉致して「J S 労に加入していないか」と追及したり、1月13日には、明けで帰宅しようとしている姥さんを4人も役員で執拗に追いかけて、そこで、J S 労のことをボロカスに言うわけです。「J S 労に加入したら大変なことになる。J S 労は公安警察にマークされている。二重加盟して後でわかったら解雇になる」など、ありもしないウソで恫喝したのです。

この二重加盟の解消は大きな節目になります。サービック労組が言っている「二重加盟は解雇になる」は真つ赤なウソです。しかし、多くのサービック労組の組合員は、不安に思っているわけですから、それが払拭されれば加入のハードルが下

会社を追及し団交実現!

J E 労山本委員長



この二重加盟の解消は大きな節目になります。サービック労組が言っている「二重加盟は解雇になる」は真つ赤なウソです。しかし、多くのサービック労組の組合員は、不安に思っているわけですから、それが払拭されれば加入のハードルが下

ンと下がるし、姥さんにも続く方も現れると思えます。J S 労は、会社に、不利益や不当な介入をしないように申し入れ、サービック労組に対しても同様の内容で通告しました。更に組織拡大に邁進していく決意です。

昨年9月7日、JR東海新幹線エンジニアニグ(J R S E)大阪支社内に向かう途中の仲間と共に組合を結成して5ヶ月が経過しました。結成に際し皆様から多大な働き、本当にありがとうございます。J E 労は、大阪支社長に対して、昼休みに「結成通知書」と「職場諸要求の団体交渉申し入れ」を手交しようとして支社長は拒否し、支社長室に逃げて以降、昼休みに支社長室から出て来なくなりまし。仕方なく「結成通知書」と「職場諸要求の団体交渉申し入れ」を配達証明で郵送しましたが、支社長は「申

し入れ」の受け取りを一切拒否したため、労働委員会に斡旋申請を行いました。それでやっと2月3日に第1回の団交を開催しました。団交当日、会社は何事もなかったかのように交渉を始めようとしたが、私たちは会社に対し、昨年10月に申し入れてから2月3日までの会社の不誠実な姿勢を厳しく追及しました。それに対し会社は、必死に言い訳をしていますが、今後二度と同様な不誠実な行いを行わないこと約束、確認しました。

交渉で改善の意思を示したのは、8項目中の熱中症対策だけでした。早速、今夏に向けてスポーツクーラーを増設しました。今回の熱中症対策は、私たちの申し入れがあったからです。残りの要求項目も職場からの切実な要求なので、今後も

OBは現職と共に闘う!

本部OB会増田会長



先程OB会は、第2回幹事会を開催して、JR東海労と更に強く連帯して闘っていくことを確認しました。

8日に行われた衆議院選挙では、マスコミ等どのように世論操作したのか知りませんが、高市ハイパーがつくられて吹き飛ばされてしまいました。松寄さんは、2006年の講演で「ファシズムは国民が生む。ヒトラーを含めて日本の戦争国家をつくったのは国民

だ、ということをお忘れはダメだ」と警鐘を鳴らしました。今の日本は、国によって世論が操作される危険な状況になっている、真実を伝える労働者労働組合はどうなっているのか、すでに資本の側に立つ産業報告会しているのではないかと危機意識を更に強くしました。

組織展望を切り拓く具体的闘いの発言

◆「津崎・熊谷裁判」について、4月に第8回口頭弁論が開かれます。次は証人尋問というところまで進みました。被告側は「事実関係については争わない」とハッキリ言ったにもかかわらず、第7回弁論では、その後提出した準備書面では「否認ないし争う」としました。原告が「ハッキリせんかい」と言うと、裁判長からも促されて、弱々しく「すべて認める」と言うことではなく、グイグイやる必要性はないと思っ

◆年末手当の支給で、リニア建設費の膨大による低額に加え、業績考課ランクが発表されました。多くの組合員が「P1」という「業績を下回る業務貢献であった」とされ、その多くが出向者です。推進されるべき育児で休んでいる社員でさえも、育児で休むとP1ランクにさせられます。育児でランクが下がることは、甚だおかしなこと

◆姥直樹さんの加入を歓迎し、共に奮闘されている仲間の皆さんに敬意を表します。地本は、終戦80年の昨年、8月7日に「豊川海軍工廠と豊橋戦跡めぐり」を取り組みました。当日訪れていた90歳を超えた遺族の方と交流しました。8月20日、磐田市で「緑十字機不時着80年大会」に参加しました。磐田・浜松の関係者ゆかりの方々や、市民の皆さんが会場一杯に集い、終了後のミーティングでは、参加メンバーから「自分の父親が、鮫島海岸に記憶とともに埋もれていた機体部品の第1発見者である」と明らか

◆地本は、静岡県リニア工事差し止め訴訟の原告団や支援者の皆さんに連帯してきています。前段集会ではJR東海労として連帯の挨拶をさせて頂きました。12月19日の第20回口頭弁論で証人尋問が行われ、次回6月5日は結審となる見込みです。リニア建設に断固反対する姿勢をより鮮明にして、組織拡大へと繋げていきます。

◆昨年、社会福祉法人で働く労働者の組織拡大を実現しました。この間、サービスマン労働の是正・職場環境改善要求の団交で、解決金を勝ち取りました。第2回の冬季賞与に関する団交は、回答書でベアを実施しているとしていましたが、組合側からの追及で実際にはベアを実施していないことを認めました。弁護士は「賃金は募集要項に記載されているのだから賃上げ要求するのはおかしい」と発言し、挑発的な態度に終始しました。現在、本部で取り組んでいる労働者支援センターを、地本独自でできるように強化していきます。

◆リニア建設反対の取り組みで、昨年5月に開催した学習会の後、タイムリーにリニア関連情報を発行してきました。地域の方たちとの連帯が重要です。

◆衆議院議員選挙で、原発問題、憲法改悪問題、安保法制問題、リニア反対運動に取り組まれていく。選挙前にユニオン組合員と話をし、「自民党に投票する」と言った

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」



丹羽議長(名古屋地本)

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

◆「まだ証明されていないのは一つだけ。2023年12月13日のJR総連第7回の執行委員会では、熊谷書記長が原告らの行為を組織破壊攻撃だと報告したとだけ」と言っています。淵上委員長は「その様子を『陳述書』で書いてもらいたいと思います。裁判はほぼ勝利が見えています。」

スローガン(案)

- 一、ベースアップ20,000円獲得！
改訂新人事・賃金制度を改善せよ！定昇6,000円獲得！
夏季手当3.8ヶ月満額獲得！
生活を守るために職場から2026春闘を開こう！
- 一、東海の地に労働運動の灯を赤々と燃やし続けるために
志を同じくする仲間と共に職場から地域から闘いをつくり出し
新たな仲間の拡大を勝ち取りJR東海労の未来を切り拓こう！
- 一、「業務改革」による利益確保最優先の経営体力強化＝労働強化反対！
組合員・社員、関係会社労働者に負担を強いる更なる効率化を許さない！
鉄道の安全、労働条件・職場環境改善のために職場から闘おう！
- 一、開業は困難！経営が破綻するリニア中央新幹線建設反対！
自然破壊を許さない！社員と地域住民の犠牲を許さない！
建設中止に向けた闘いを更に広範につくり出そう！
- 一、高市政権による憲法改悪反対！原発新設・再稼働反対！辺野古新基地建設反対
あらゆる戦争に反対し、「戦争をする国」づくりを阻止しよう！
平和・人権・民主主義を守り抜くために奮闘しよう！



しました。事象の解明と乗務員への指示の明確化を求めました。

議論の中で、石部トンネルでは2023年1月に漏水防止板の脱落があったこと、対策として防錆処理したボルトナットを使用することになったが、まだ交換してないボルトナットが腐食で破断したことが明らかになりました。安全対策が追いついていないことを指摘すると共に、再発防止を要求しました。

◆「業績考課ランク実績に関する申し入れ」を行いました。P1と評価された組合員が苦情申告し事前審理が開催されましたが、会社は「適用解釈に疑義はない」とか「処遇面に不利益がない」として、苦情処理会議の開催を拒否しました。組合は「勤務成績が良好でないものに該当する恐れがある。苦情処理会議を開催するべきである」と主張し対立しました。

◆診断書強要行政訴訟

控訴審で勝利判決を勝ち取りました。都労委に申し立ててから、会社への「申し立ては全て団交開催の申し入れとして一貫して行ってきました。しかし会社は、業務委員会あるいは窓口回答という対応で、団交は一度も開催されていません。今回の判決を機に、高裁判決に対し会社見解を求めると共に、団交開催を今まで以上に強く訴えてきました。団交拒否に對しては抗議し、業務委員会などの開催にも一旦保留として会社に再考を求めるなど、勝利判決を最大限活用し、団交で回答することを強く主張してきました。

地本ではまだ団交開催には至っていませんが、本部は団交の実現を勝ち取っています。これも各地本の連携した取り組みがあつてこそその成果です。今後もこだわった取り組みを続けます。

◆今衆院選での自民党の圧勝は、自民党自身への支持というよりも、高市総理個人の「人気」が一番の要因だと思われま

す。報道では、高市総理は「変えてくれるんじゃないか」という印象を持った人が多いと言われていました。つまり、高市総理が具体的に何々をやってくれるからではなくて、何かをやってくれるという中身抜き期待感です。

低賃金や物価高にあえいでいる労働者や年金生活者は、当然賃金の底上げ・労働条件の改善や物価対策を求めていると思

います。物価高は高市総理が進めている積極財政政策や円安誘導が原因です。働き方改革という名の働き方改悪を進めているのが高市総理です。労働者自身が自ら会社や権働組合の力が低下していると考えます。

自民党単独で3分の2を超えたということは、参議院で否決された法案を再可決できる数、改憲発議ができてしま

います。改憲阻止、反戦平和の大きな輪をつくるため、労働組合の連帯をつくり出していきます。

◆企業内労働組合にとられぬ幅広い運動をつくり出すことが、重要なことです。地本は、本部開催の10・15集会を契機に取り組みを加速させています。JRひがし労との交流を通じて、地域への活動・運動のつくり方など、多くのことを学びました。また、敬松塾の学習会にも参加しました。

◆国鉄分割民営化から、来年で40年を迎えます。国鉄改革の本質は、闘う労働組合の根絶やし

です。私たちの先達は、将来の組合員と家族の利益を第一に考え、新生JR内に闘う労働組合を残してきました。しかし、

松壽明さんが「D型もD民同へ涸谷に」と辞世の句を詠まれた通り、JR総連運動は民同以下に変質してしまいました。私

たちは、JR総連と決別してから、会社・権力・JR総連からの攻撃を跳ね返すだけでなく、出向先会社において労働組合を結成し、着実に組織拡大を実現しています。JR総連指導部の根本的な誤りは、組合員の「自然発生性」にひびきま

東海の地に労働運動の灯を燃やし続けよう！

本橋書記長総括答弁（要旨）



ね返すだけでなく、出向先会社において労働組合を結成し、着実に組織拡大を実現しています。JR総連指導部の根本的な誤りは、組合員の「自然発生性」にひびきま

また、JRひがし労とは2月17日に「合同学習会」、3月3日には「2026春闘勝利！総決起集会」を開催します。職場ではJR東海ユニオンをはじめとする関連会社の御用組合の欺瞞性を暴露しつつ、闘いをつくり出していくと同時に、これまでの春闘の殻を打ち破った賃金引き上げの闘いをつくり出していきます。

春闘勝利に向けた闘いと同時に、JR東海労の将来展望を切り拓く発言が多くありました。JR東海労の組織展望は組織拡大なくしてつくり出すことはできません。組織拡大の方針は第一にJR

本橋書記長総括答弁（要旨）

す上で必要です。

昨年「労働者支援相談センター」を設立し、この1年で多くの労働者から相談を受け、各地本にも対応していただきました。今後も労働者の駆け込み寺となるべく取り組みます。

JR総連は、JS労も二重加盟も認めません。私たちがJR総連と決別した後、JRの枠にとられぬ労働者の連帯をつくり出していきましょう。決して私たちは孤立していません。孤立するのは「JRじゃなければJR総連ではない」などと囁いたJR総連です。

戦争をする国を許さず、平和を希求する闘いについて本部は、安定した生活は平和な社会があつてこそと考えます。第51回衆議院選挙において、自民党が圧勝し単独で3分の2を超える316議席を確保しました。単独で憲法改正発議が可能となり、憲法改悪が近づいてきました。私

は憲法改悪を許すわけにはいきません。私が子供の頃、戦争を体験した父親から「日本は戦争に負けて良かった」と聞いて違和感を覚えました。その意味が分かったのは国鉄に入り労働組合活動の中で理解しました。タカ派の高市首相率いる自民党が何をすすめるのか。軍事大国化が進めば自分がどうなるのか、自らが戦地に立つ日が来るのか、自分の頭の上にミサイルが落ちてくるのか、イメージすらつかずに他人事である人々に、今、自らが親やその上の世代から聞いた我々の世代が、JR東海ユニオン組合員をはじめ、関係会社やJR以外の労働者や地域の労働者、知人、友人、家族などに語り継ぐ「語り部」になり、憲法改悪に反対する仲間を増やさなくてはなりません。

私たちは、東海の地に労働運動の灯を消すことなく赤々と燃やし続け、これを運動で示していくために、2026春闘をはじめ、労働条件改善、リニア建設反対、戦争をする国を許さず平和を希求する闘いなど、本部はJR東海労連に結束する仲間と、敬松塾、JRひがし労など連帯する全ての仲間と共に全力で闘いをつくり出すことを明らかにします。共に闘いましょう。

姥さんより決意のメッセージ

2月11日にサービック労組を脱退し、J S 労の組合員であることを公表した姥直樹さんから、以下のメッセージが届きました。



サービック労組脱退にあたって

- 昨年11月、私は以下のようなメールをJ S 労にしました。
「私は株式会社関西新幹線サービックで働いています。会社には、関西新幹線サービック労働組合(サービック労組)とJRサービック労働組合(J S 労)という2組合があり、会社はサービック労組とユニオンショップ制を結んでいます。私は、サービック労組に加入していますが、信用できないためJ S 労のHPをよく見ていました。そんな中で、私は職場でハラスメントに悩まされていました。何人かの方に相談しましたが一向に止まないため、思い切ってJ S 労さんへ投稿しました。よろしくお願います。」と、
そしてJ S 労の役員さんに会い直接悩みを聞いてもらい、解決に向けて力を貸してもらうため、二重加盟でサービック労組には所属したままJ S 労さんに加入をしました。J S 労の役員さんは約束通りに加害者に注意してくれました。その結果、加害者は謝罪をしてハラスメントはなくなりました。
- ところが、サービック労組は、私がJ S 労に加入していることを疑い、問題にしたのです。
昨年12月10日、泊まり勤務を終え帰ろうとした時、JR新大阪駅の従業員専用扉の前で待ち伏せし、私が扉から出てきた途端、サービック労組の大城副委員長に腕を掴まれ拘束され、日生ビルのモスバーガーまで連れていかれました。そして、もう一人の人と共に40分間に渡り、「(「J S 労に入っているという噂を聞いた。」「J S 労に入っていたら取り返しのつかないことになる。」「J S 労は公安から目をつけられている。」等々と、しつこく言われ脅かされたのです。
これは明らかな不当労働行為、腕を掴む暴行罪、拘束は監禁罪になります。J S 労さんからすれば名誉毀損です。
そしてあろうことか、サービック労組は、その1回だけでなく1月13日にも同様な手口で扉の前に隠れるように待ち伏せ、今度は、大城副委員長ほか3名(第一事業所竹坂副委員長を含め合計4名)で、私を拘束しようとしてきました。職場からJRの改札口まで執拗に、「(「J S 労に入っていないか?」「J S 労に入っていて、後に分かれば解雇される。」「何も知らないでJ S 労に入っていた鳥飼の人も穏便に済ませ、抜けさせたこともある。」「J S 労に入っていたら教えてくれ。」と、私には時間が無いのに、JR新大阪駅のアルデ改札口の前までしつこくストーカー行為を行ったのです。
- 二重加盟で解雇することはできません。二重加盟による解雇は不当解雇に当たりません。そこで私は、「抗議書」をサービック労組に送りました。ところが、失礼なことに、封書を開封しないで送り返してきたのです。私はあきれました。そして失礼なサービック労組の対応に、再度抗議と謝罪を求める書面を送りました。しかし、全く無視されたのです。もう怒り心頭です。この時、サービック労組を脱退してJ S 労加入を公表したいと思いました。
- サービック労組は私への対応を、「サービック労組は顧問弁護士に相談して対応した。サービック労組は私を無理に引き止めたりしてない、私が勘違いしている。サービック労組は間違ったことも暴力行為もしていない。」等と、自分たちがやったことを否定しているようです。顧問弁護士にも相談して対応しているみたいですが、弁護士にきいたら、自分たちの行為が犯罪だとわかるはずですが、もうここまで認めないのであれば、私は犯罪集団のサービック労組を訴えようかとも考えました。現在に至っても謝罪すらなく、嘘を周りに言うだけ言って、逃げ回っています。こんな嘘と犯罪集団のサービック労組を許すことはできません。我慢の限界に達しました。
したがって、私は、こんなサービック労組を本日、脱退します。そして、J S 労の仲間の皆さんと一緒に闘う決意です。

2026年2月11日
姥 直 樹

我々は決別したわけですから、更なる組織拡大に向けて闘います。運動領域を広げて組織拡大の道

をつくり出すということ、JR東海労連として共に闘う仲間をどんどん広げていきましょう。

紀(JR東海労) / 西三喜夫(J S 労) / 会計監査員・柿本克彦(J S 労) / 船出和幸(J E 労)

新旧役員の方々

新役員

▼執行委員長…淵上利和(JR東海労) / ▼執行副委員長…柳楽閑(J S 労) / 畑野浩孝(J R 東海労) / 齊藤孝

▼事務局次長…前田稔(J S 労) / ▼執行委員…成田隆浩(JR東海労) / ▼高木公昭(J S 労) / ▼会計監査員…松山文成(JR東海労)

退任された役員



賃金の本質を学ぶ!

J R ひがし 労と合同春闘学習会開催

J R 東海労は2月17日、東京都内でJ R ひがし 労と「合同春闘学習会」を開催しました。最初に、両単組委員長が挨拶を行いました。淵上委員長は「今学習会で賃金とは何かを学ぼう。御用組合は会社のおこぼれを貰うのが賃上げだと認識している。他労組組合員に、賃金の本質を訴えよう」、J R ひがし 労松下委員長は「今春闘を



組織拡大春闘として位置づけ闘う。社友会の人たちは、春闘すら知らない。働いていない地域組合員については、メッセージ行動などで春闘の一体感をつくっている」と挨拶しました。
学習会は、敬松塾運営委員の平山さんが講師を務めました。平山さんは、「JR各社の賃金制度は定期昇給を否定する仕組みになっていることで労働者の賃金を抑制していること、それと並行して雇用形態の転換を行い終身雇用を否定している実態、経済状況と賃金との関連性、資本主義経済の本質・剰余価値を生む仕組みなど、多岐にわたる賃金の本質を説明しました。
講演後、参加者から意見や質問など、討論を行い、最後に本橋書記長は「ベア2万円を統一要求として春闘を闘い、組織拡大を目指そう」とまとめを行いました。